ONKYO

INTEC
COMPONENT WORLD

FM/AM チューナー

T-405FX

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

主な特長

■さまざまな組み合わせが可能な単品設計

■電波時計内蔵アキュロック機能搭載

■ FM最大20局、AM最大10局を自動的に登録するオートプリセットメモリー

■ FMワイドバンド対応（76.00MHz～108.00MHz）

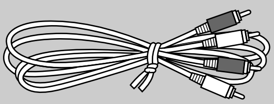
■8桁キャラクター入力

■アルミフロントパネル

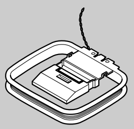
付属品

ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。
（ ）内の数字は数量を表しています。

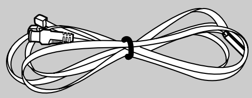
●オーディオ用ピンコード(60cm) .... (1)



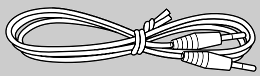
●AM室内アンテナ .... (1)
AM放送を受信するアンテナです。



●FM室内アンテナ .... (1)
FM放送を受信するアンテナです。



●RIケーブル(60cm) .... (1)
RI端子付きオンキヨー製品とのシステム接続をするケーブルです。（RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。）

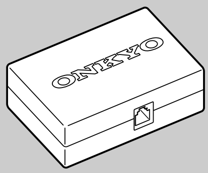


●標準電波受信ユニット接続ケーブル(1.5m) .... (1)



●取扱説明書（本書） ..... （1）
●保証書............................ （1）
●オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内....... (1)

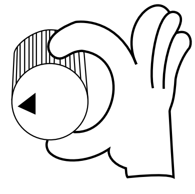
●標準電波受信ユニット .... (1)



カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。
色は異なっても操作方法は同じです。

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



目次

はじめに

接続をする

電波時計機能を使う

ラジオ放送を聞く

時計とタイマー

その他

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⦸記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容(左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーをはずさない、改造しない

分解禁止

●本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
●本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

●本機を使用できるのは日本国内のみです。
●表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧や船舶などの直流(DC)電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

●本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。
次の点に気をつけてご使用ください。
- 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
- 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、ふとんの上に置いて使用しないでください。
- 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面、横から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。

オーディオ機器の正しい使いかた

■ 水のかかるところに置かない

水場での
使用禁止

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

●本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

●本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

●本機の通風孔などから金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセント
から抜いてください

●万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますのでご注意ください。
●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■ 電源コンセントにはオーディオ機器以外接続しない

●本機の電源コンセントはオーディオ機器専用です。表示された定格以内でご使用ください。表示された定格以上の機器やヘヤードライヤー、電気こたつなどの電熱器具、オーブン・レンジなどの調理器具は絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセント
から抜いてください

●万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触
禁止

●雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

オーディオ機器の正しい使いかた

⚠注意

■ 設置上の注意

●強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
●本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
●本機の上に10kg以上の重い物や外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

●本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

●本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
●キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

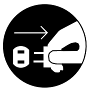
■ 電源コード、電源プラグの注意

●電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
●電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

●旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
●移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 点検・工事について



電源プラグをコンセントから抜いてください

●お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

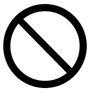


●使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。

●電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

●アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

●屋外アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となるとがあります。



●シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

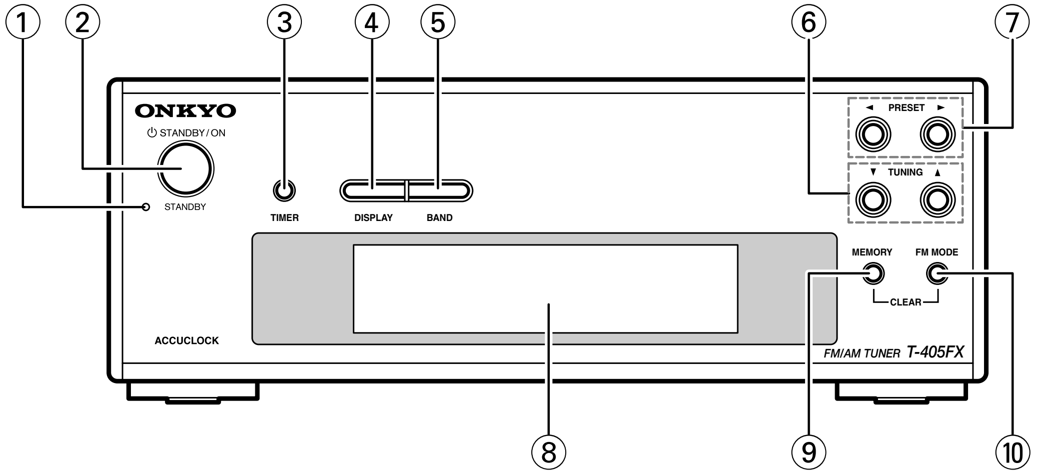


●表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

本体、リモコンボタンの名前と働き

前面パネル

〔　　〕内のページに主な説明があります。



① STANDBY(スタンバイ)インジケーター〔16〕
本機がスタンバイ状態のときに点灯します。

② STANDBY(スタンバイ)/ON(オン)ボタン〔16〕
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

③ TIMER(タイマー)ボタン〔22、26、29〕
時刻合わせやタイマーを設定します。

④ DISPLAY(ディスプレイ)ボタン〔20、21、23〕
表示部の表示を切り換えます。

⑤ BAND(バンド)ボタン〔17、19、20〕
FM、AMを切り換えます。

⑥ TUNING(チューニング)▼/▲ボタン〔17〕
周波数を合わせるときに使用します。
文字入力時や時刻設定、タイマー設定時には、文字入力の位置を左右に移動したり、設定内容を選びます。

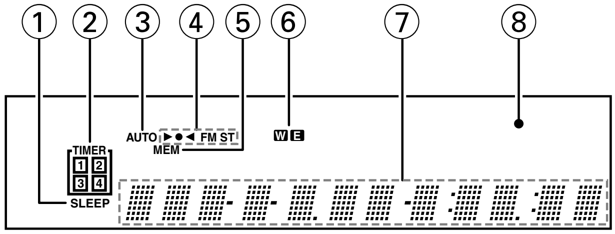
⑦ PRESET(プリセット)◀/▶ボタン
〔18、19〜23、26〜29〕
登録した放送局を選びます。文字入力時や時刻設定、タイマー設定時には、文字を選んだり、設定内容を選びます。

⑧ 表示部
次ページをご覧ください。

⑨ MEMORY(メモリー)ボタン〔17、21、22、26〜29〕
放送局を登録したり、削除するときに使用します。

⑩ FM MODE(モード)ボタン〔19〜21〕
FM放送受信時、受信モードを切り換えます。

表示部



① SLEEPインジケーター
スリープタイマーが設定されているときに点灯します。

② TIMER1～4インジケーター
タイマーのセット状態を表示します。
□ ：タイマー録音設定時に点灯します。
数字 ：タイマー1～4設定時に点灯します。

③ AUTOインジケーター
FMモードが「オート」のときに点灯します。

④ ▶●◀/FM STインジケーター
放送の受信状態を表示します。

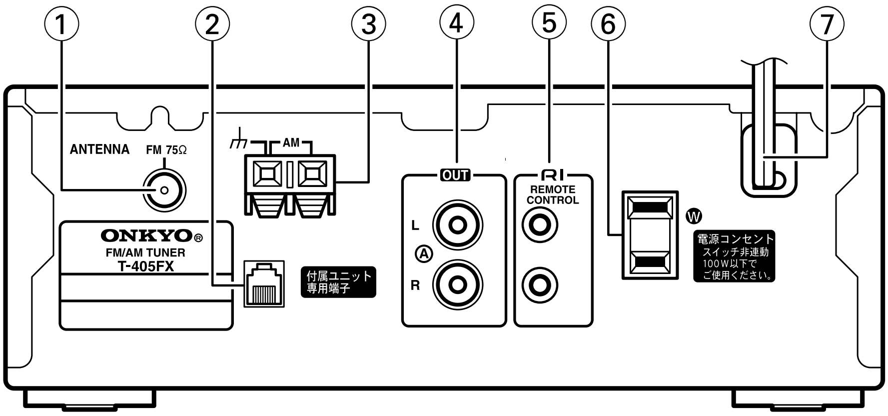
⑤ MEMインジケーター
放送局を登録するときに点灯します。

⑥ 標準電波受信インジケーター
標準電波を受信しているときに点滅します。
W E は、2ヶ所の送信所のどちらの電波を受信しているのかを表わします。

⑦ 多目的表示部
受信周波数およびプリセット番号を表示します。その他、時間表示やスリープの残量時間表示、設定するモードやメッセージなどを表示します。

⑧ タイムコードインジケーター
強制受信をしたときに、タイムコードを表示します。

後面パネル



① FM ANTENNA（75Ω）端子
付属のFM室内アンテナまたは、FM屋外アンテナを接続する端子です。

② 付属ユニット専用端子
標準電波受信ユニットを接続する端子です。付属の標準電波受信ユニット接続用ケーブルを使用して接続してください。

> ご注意
> 標準電波受信ユニット以外は接続しないでください。誤って電話線などを接続すると、本機の故障の原因となります。

③ AM ANTENNA端子
付属のAM室内アンテナを接続する端子です。

④ OUT端子
付属のオーディオ用ピンコードを使って、アンプなどのアナログ音声入力端子と接続します。

⑤ RI REMOTE CONTROL端子
RI端子のあるオンキヨー製アンプなどと接続し、連動させるための端子です。
RIケーブルの接続だけでは連動しません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

⑥ 電源コンセント
他機の電源プラグを接続します。

⑦ 電源コード
家庭用電源コンセントに接続します。INTEC205シリーズの組み合わせで接続するときは、アンプの電源コンセントに接続します。

接続については、11～14ページをご覧ください。

本体、リモコンボタンの名前と働き

リモコン

本機にリモコンは付属していませんが、INTEC205シリーズのアンプやAVセンターに付属のリモコンを使って本機を操作することができます。製品によって操作が異なりますので、組み合わせるアンプやAVセンターの取扱説明書をご覧ください。ここでは、A-905FX（アンプ）に付属のリモコンで説明します。リモコンをアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。

〔　　〕内のページに主な説明があります。

■A-905FXに付属のリモコン（RC-614S）

ONボタン〔16〕
アンプの電源を入れます。もう一度押すと、RI接続した機器の電源が入り、本機の電源も入ります。

FMボタン〔20〕
FM放送を選びます。
A-905FXと接続しているときは、電源が入っていないときに押すと、A-905FXと本機のみ電源が入ります。

◀◀ボタン〔20〕
放送局の周波数を選びます。
A-905FXの入力が「TUNER」になっているときに使用できます。

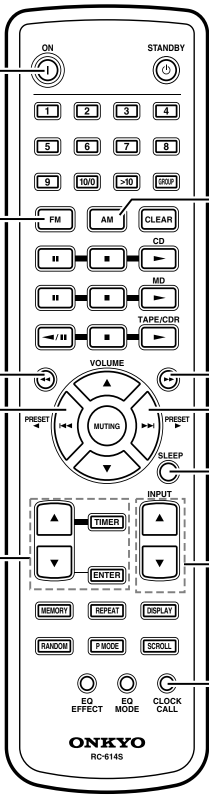
PRESET◀ボタン〔20〕
登録された放送局を選びます。
A-905FXの入力が「TUNER」になっているときに使用できます。

タイマー設定ボタン〔22、23、26〜29〕

TIMER：タイマーの設定モードを切り換えます。

ENTER：TIMERボタンや▲/▼ボタンで選択した内容を確定します。

▲/▼：TIMERボタンで選択した項目の設定内容を選びます。



AMボタン〔20〕
AM放送を選びます。
A-905FXと接続しているときは、電源が入っていないときに押すと、A-905FXと本機のみ電源が入ります。

▶▶ボタン〔20〕
放送局の周波数を選びます。
A-905FXの入力が「TUNER」になっているときに使用できます。

PRESET▶ボタン〔20〕
登録された放送局を選びます。
A-905FXの入力が「TUNER」になっているときに使用できます。

SLEEPボタン〔25〕
スリープタイマーを設定します。

INPUT▲/▼ ボタン
聞くソースを選ぶときに押します。

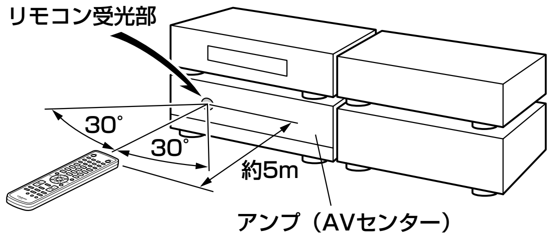
CLOCK CALLボタン〔20〕
時計を表示します。

■アンプ（AVセンター）に付属のリモコンで本機を操作する

アンプ（AVセンター）とRI接続すると、アンプ（AVセンター）に付属のリモコンで本機を操作することができます。

ご注意

RIケーブルの接続だけでは、システムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。



リモコンの使いかた

リモコンをアンプ（AVセンター）のリモコン受光部に向けて操作してください。

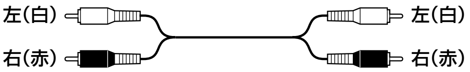
接続をする

機器を接続する前に

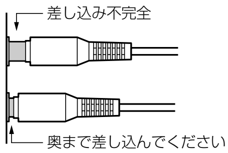
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードは全ての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 赤いコネクターを右チャンネル（Rの表示）、白いコネクターを左チャンネル（Lの表示）に接続してください。



- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。
- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- スピーカーコードや電源コードをチューナーのアンテナに近づけると、影響を与える場合がありますので、できるだけ離してください。



システム機能について

INTEC205シリーズの組み合わせでRIケーブル、オーディオ用ピンコードを接続すると、次のシステム機能を使うことができます。RIケーブルとは、本機に付属しているオンキヨーのシステム動作用ケーブルです。

INTEC205シリーズのアンプ、MDレコーダー、カセットテープデッキ、CDプレーヤーと接続する場合

システム接続のしかた
(INTEC205 シリーズの接続)
→ アンプ（AVセンター）の取扱説明書をご覧ください。

オートパワーオン
本機の電源を入れると、アンプ（AVセンター）の電源が自動的に入ります。

ダイレクトチェンジ
本機でプリセット選局やFM/AM選択をすると、アンプの入力が自動的に「TUNER（チューナー）」に切り換わります。

リモコン操作
アンプ（AVセンター）に付属のリモコンで本機を操作することができます。
→ 詳しくは本取扱説明書10ページをご覧ください。

タイマー操作
本機でタイマー時間を設定し、タイマー操作ができます。
→ 詳しくは本取扱説明書24～29ページをご覧ください。

- 接続が正しくないと各機能は働きません。12～14ページを参照しながらオーディオ用ピンコード、RIケーブルを正しく接続してください。
- システム機能については、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 一部、旧INTEC205シリーズ製品との組み合わせで動作しない機能があります。新旧製品の連動動作の対応/非対応については、カスタマーセンターにお問い合わせください。

オンキヨー製AVセンターSA-907FXと組み合わせてご使用になる場合のご注意：

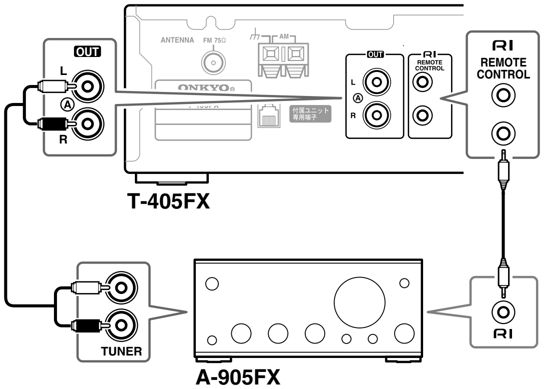
- 本機を操作するときはSA-907FXの電源を入れ、入力ソースを「TUNER」にしてから操作してください。SA-907FXに付属のリモコンのTUNERボタンを押しても、ダイレクトチェンジが働きません。
- タイマー録音をするときは、入力ソースは「LINE IN（ライン イン）」**以外**を選んでください。SA-907FXの「LINE」はデジタル/アナログともに出力端子が無いため、「LINE」を選んでも録音できません。
- SA-907FXにDVDを接続しタイマー再生するには、SA-907FXのDVD/CD端子にDVDプレーヤーを接続し、入力表示を「DVD」にして、本機のタイマー再生ソースを**「CD」**に設定してください。

アンプやAVセンターと接続をする

本機のOUT（アウト）端子Ⓐとアンプ（AVセンター）のアナログ音声入力端子を接続します。

RI端子付きのオンキヨー製品と組み合わせてシステム機能を使うときは、付属のRIケーブルで本機のRI端子とアンプ（AVセンター）のRI端子を接続してください。

例：オンキヨー製アンプ（A-905FX）との接続



ご注意

- 2つのRI端子の働きは同じです。いずれかに接続してください。
- システム機能については、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- RI端子の接続だけではシステムとして働きません。
  オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

INTEC205シリーズとの接続は、アンプ(AVセンター)の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

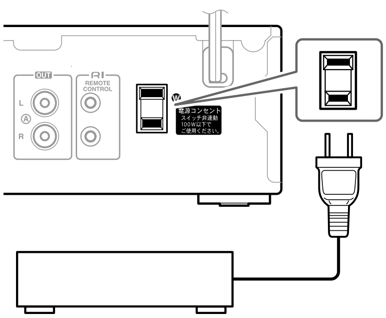
本機の時計やプログラムタイマー機能をご使用になる場合は、本機の電源コードは必ず常時通電しているコンセントに接続してください。

他機の電源プラグを本機につなぐ

本機後面に電源コンセントがありますので、組み合わせて使用する製品の電源プラグを接続することができます。
本機の電源コンセントは極性の管理がされています。他機の電源コードや電源プラグに目印がある場合は、目印側を本機の電源コンセントのⓌ側に合わせてください。他機の電源コードに目印がない場合は、どちらを接続してもかまいません。

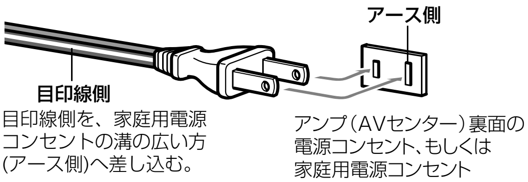
ご注意

本機の電源コンセントには、100Wを超える機器は接続しないでください。



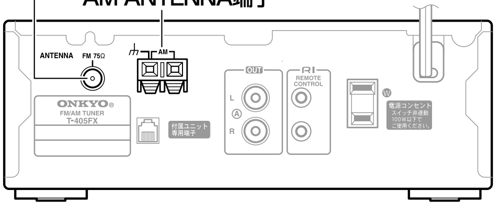
電源コードを接続する

電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。



よりよい音で聞いていただくために
本機の電源コンセントは極性の管理がされています。電源コードに線の入っている側を家庭用電源コンセントの溝の広い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の広さが同じ場合はどちらを接続してもかまいません。

アンテナを接続する

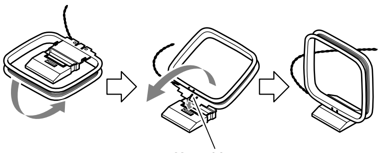


AM室内アンテナを接続する

AM室内アンテナは必ず室内で使用してください。

1

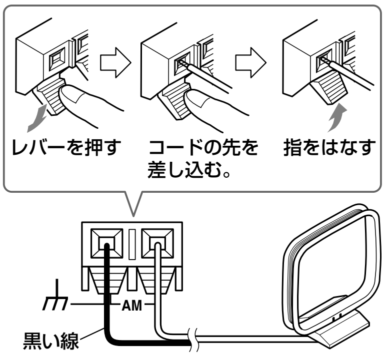
AM アンテナを組み立てる



2

AM アンテナ線を接続する

AMアンテナのコードは、分岐した先端を端子の奥までしっかりと差し込みます。コードのビニールの部分ではなく、導線の部分が接続端子に挟まれるようにします。このアンテナ線には極性がありますので、黒い線を左の端子(⏚)へ、もう一方を右の端子へ接続してください。



アンテナの調整や設置は、実際に放送を聞きながら行ってください。本機、テレビ、スピーカーコード、電源コードからは、できるだけ離してください。

ご注意

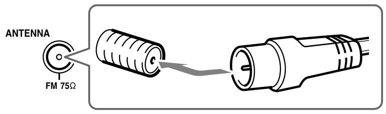
AM室内アンテナの巻き線部は、ほどかないでください。

FM室内アンテナを接続する

FM室内アンテナは必ず室内で使用してください。

1

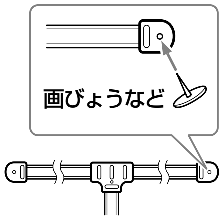
FM アンテナを接続する



アンテナの調整や設置は、実際に放送を聞きながら行ってください。

2

画びょうなどでFMアンテナを固定する

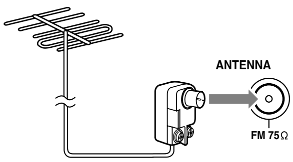


ご注意

画びょうなどで指を傷つけないように、ご注意ください。

FM屋外アンテナの接続

付属のFM室内アンテナできれいに受信できない場合は、市販の屋外アンテナを使用します。



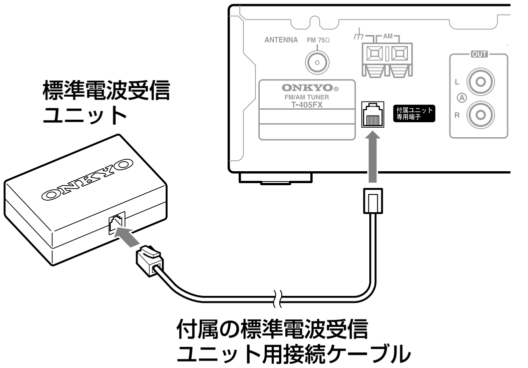
ご注意

- なるべく建物の陰にならず、FM放送電波が直接受信できるところに設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけはなれたところに設置してください。
- 屋外用FMアンテナは、屋外に設置した場合にもっとも効果が得られるよう設計されています。ただし、屋根裏に設置した場合に、一定の効果が得られることがあります。
- 送電線の近くは危険ですので、絶対に設置しないでください。
- 感電防止のため、必ずアースをとってください。

電波時計機能を使う

標準電波受信ユニットを接続する

付属の標準電波受信ユニット接続ケーブルを使用して、標準電波受信ユニットを本機の付属ユニット専用端子に接続します。
「カチッ」と音がするまで、プラグをしっかりと差し込んでください。はずすときはツメを押しながら抜いてください。

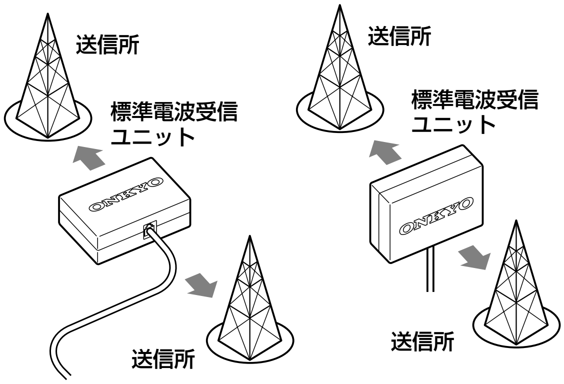


ご注意

- 本機の付属ユニット専用端子には標準電波受信ユニット以外のものは絶対に接続しないでください。電話機等を誤って接続しますと、故障の原因となります。
- 付属の標準電波受信ユニットは屋内用です。屋外で使用すると故障の原因となります。

標準電波受信ユニットの置きかた

標準電波受信ユニットは、窓際などのできるだけ電波が届きやすいところに置きます。
下図の矢印の方向に送信所が来るようにしてください。

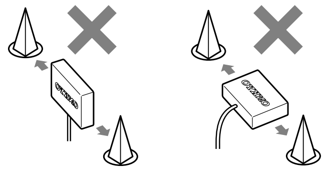


次のような場所では電波を受信しにくい場合があります。
- マンションやビルの中。ビルの谷間。
- 高圧線やテレビ塔の近く、電車の架線の近く。

次のような場所に標準電波受信ユニットを置くと電波を受信しにくくなりますので、できるだけこのような場所は避けて設置してください。
- テレビやスピーカー、エアコン、冷蔵庫などの電気製品やＯＡ機器の近く。
- スチール机や金属製の家具などの上。

！ヒント

- 壁などに取り付ける場合は、標準電波受信ユニットの後ろの取り付け用の穴をご利用ください。
- 送信所に対して下図のような向きで置きますと、受信しにくい場合があります。特に電波が弱い地域では、向きに注意してください。

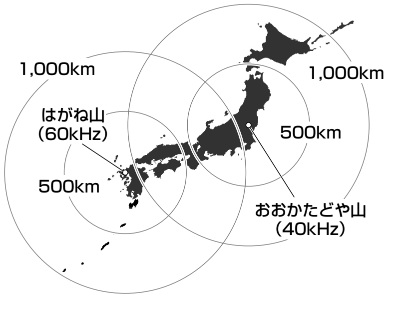


■電波時計とは・・・

日本標準時を載せた長波標準電波（JJY）を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。標準電波は、独立行政法人情報通信研究機構（NICT）が運用しており、国内二ヶ所の標準電波送信所からそれぞれ40kHzと60kHzの周波数で送信されています。この電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や落雷対策等で一時送信が中断されることもあります。

■電波の受信範囲について

設置場所や天候、時間帯、地形や建物の影響などによって受信状況は異なりますが、条件の良いときは送信所からおおむね1000ｋm離れた場所でも受信できます。東日本地域は40kHz（おおたかどや山-福島送信所）、西日本地域は60kHz（はがね山-九州送信所）の電波が受信しやすいものと考えられます。受信状態が良ければ、ほぼ日本全国で受信することができます。



標準電波受信ユニットで受信する

1

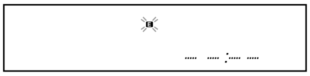
標準電波受信ユニットを接続したら電源コードを接続する

本機がスタンバイ状態になります。
アンプに接続している場合は、アンプの電源コードを接続します。本機の電源はまだ入れないでください。
本機がスタンバイ状態でのみ、時計調整ができます。

2

[E] インジケーターが点滅する

[E]インジケーターはおおたかどや山の送信所（40kHz）の電波を受信しているときに点滅します。ここで受信できなかった場合、[W]インジケーターの点滅に変わります。[W]インジケーターが点滅しているときは、はがね山送信所（60kHz）の電波を受信しています。
受信に成功すると点滅が点灯に変わります。
受信がうまく行かなかった場合はインジケーターが消えます。



！ヒント

- 初めて受信するときは [E] から点滅が始まりますが、次からは前回受信に成功した送信所から受信を始めます。
- 時計に時刻が設定されていると、毎日3回（2時、5時、14時）受信します。
- 次の場合は、ただちに受信します。
  - 停電して復帰したとき。
  - CLOCKをMANUAL（マニュアル）からAUTO（オート）にして、電源をスタンバイ状態にしたとき。
- 受信中、データを読み始めると、インジケーターの点滅が速くなります。
- 一度受信に成功すると、24時間インジケーターが点灯します。そのため、24時間以内に受信に失敗してもインジケーターは消えません。
- 通常時は、受信に成功した方の [E] または [W] インジケーターが点灯します。

ご注意

- 受信には10分程度かかる場合があります。
- 受信中（特に点滅が速いとき）は、受信ユニットを動かさないでください。受信状態が乱れ、受信に失敗しやすくなります。
- 深夜になると受信しやすくなりますので、失敗してもCLOCK（クロック） AUTO（オート）のままにして、数日間様子を見てください。
- いろいろ試してみても自動受信ができない場合は、手動で時計合わせをしてください。（☞22ページ）

■強制受信の方法と標準電波受信ユニットの配置

スタンバイ状態でTIMER（タイマー）ボタンを3秒以上押すと、標準電波の強制受信が始まります。
PRESET（プリセット）◀/▶ボタンで、福島局(E)と九州局(W)を切り換えることができます。もう一度、TIMERボタンを押すと、強制受信を中止します。
強制受信のときは、タイムコードインジケーターが点滅します。

タイムコードについては、

http://jjy.nict.go.jp/JJYpamp/index.html

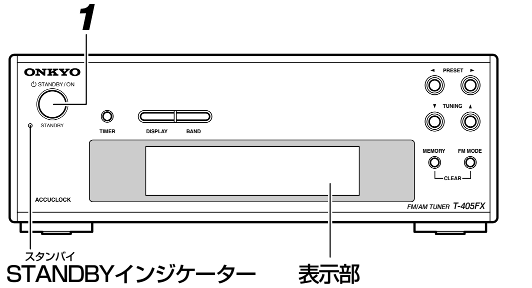
の「長波JJY送信方法」を参照してください。
タイムコードインジケーターが1秒ごとに点灯（点灯時間は200ms、500ms、800msの3通り）するよう標準電波受信ユニットの位置や向きを合わせてください。不規則に点滅したり、点灯したままの状態の場合は、標準電波を安定して受信できていません。夜になると受信しやすくなりますので、昼間の受信が無理な場合は、夜間に試してください。

！ヒント

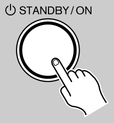
- TIMERボタンを3秒以上押しても強制受信にならないときは、一度電源を入れてから、TIMERボタンでCLOCK（クロック）を選択し、「AUTO（オート）」になっているか確認してください。
- 電波が弱い地域では、受信ユニットの位置や向きをわずかに変えるだけで受信状態が大きく変わることがあります。タイムコードインジケーターを参考にして、最適な位置や向きを探してください。
- 福島局(E)と九州局(W)の両方が受信できる地域では、受信する日や時間によって、受信状態のよい局が変わることがあります。
- 距離の近い局の方が、必ずしも受信状態がよいとは限りません。

ラジオ放送を聞く

電源を入れる



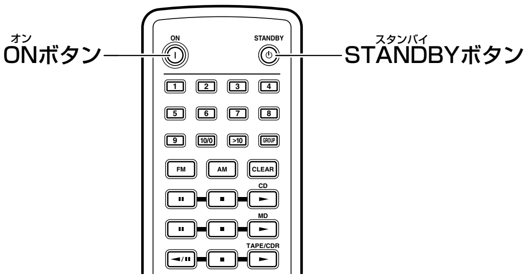
1



STANDBY/ONボタンを押す

STANDBYインジケーターが消え、表示部が点灯します。

スタンバイ状態に戻すには
STANDBY/ONボタンをもう一度押します。



A-905FXに付属の
リモコン(RC-614S)

システム全体の電源を入れる
INTEC205シリーズのA-905FX(アンプ)やSA-907FX(AVセンター)と組み合わせる場合:

1



アンプ(AVセンター)に付属のリモコンのONボタンを押す

アンプ(AVセンター)の電源が入ります。

2



もう一度ONボタンを押す

RI接続したすべての機器の電源が入り、本機の電源も入ります。

システム全体をスタンバイ状態に戻すには
アンプ(AVセンター)に付属のリモコンのSTANDBYボタンを押します。

!ヒント

アンプ(AVセンター)と本機のみ電源を入れるには、本機のBANDボタン(本体)もしくは、リモコンのFM/AMボタンを押します。

放送局を登録する(プリセット)

放送局を登録するには、次の2通りの方法があります。
- 受信可能な放送局を続けて受信し、自動的に記憶させる(オートプリセットメモリー)。
- 希望の放送局を受信し、希望のプリセット番号に記憶させる(プリセットメモリー)。

ご注意

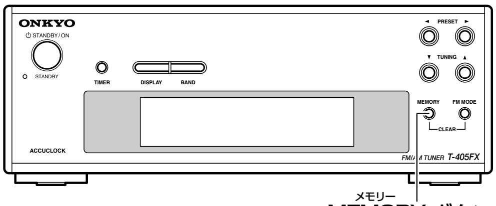
- 記憶させることのできる放送局はFM/AM合わせて30局です。30局を越えると、"FULL"表示になり、それ以上は記憶できません。
- AM放送局を受信中にリモコンを操作すると、雑音が入ることがあります。
- 電源コードを抜いたり停電状態が2週間以上続くと、登録した放送局や文字などは消えることがあります。その場合は、再度登録してください。

自動的に放送局を登録させる（オートプリセット）

登録すれば放送局を周波数で合わせなくても選局ができます。受信から登録まで、一括して自動（オート）で行えます。

予備知識

- FMの受信周波数は76.00～108.00MHzですが、オートプリセットは76.00～90.00MHzの間で行います。
- すでにFM/AM局を登録してある場合、オートプリセットを行うと前の登録はすべて消え、新たに登録されます。



MEMORY（メモリー）ボタン

操作の前に

電源を入れてください。受信状態が良好になるようにFM/AMアンテナの位置を調整してください。（☞19ページ）

ご注意

お使いの場所によっては放送局でないもの（ノイズ）がプリセットされることがあります。このようなプリセット局は削除してください。（☞19ページ）



MEMORY（メモリー）ボタンを押し続ける



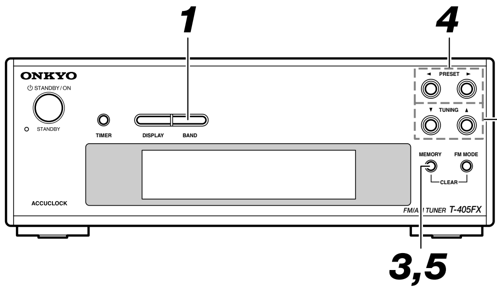
オートチューニングが始まるまで約5秒程度ボタンを押し続けてください。ボタンを押すと、まず「MEM（メモリー）」が点灯し、次に表示部に「AUTO PRESET（オート プリセット）」が点滅、その後周波数表示に変わってオートチューニングが始まります。放送局を受信すると自動的に止まり、▶●◀表示が点灯します。
周波数の低い順から自動的に、FM最大20局、AM最大10局まで登録していきます。

FM、AM局を一局ずつ登録する（プリセットメモリー）

周波数を手動で合わせて、一局ずつプリセット局に登録します。
好きな局順に登録するのに便利です。

予備知識

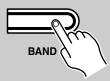
- プリセットは、FM、AM合わせて30局まで登録できます。例えば、FMで8局使っている場合はAMで22局まで登録できます。
- FM、AMは独立して表示されますので、FMとAMに同じプリセット番号があってもかまいません。
- プリセットメモリーの場合は、任意のプリセット番号に登録することが可能です。例えばAMを2、5、9のようにすることができます。

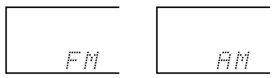


操作の前に

電源を入れてください。

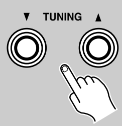
1 BAND（バンド）ボタンを押してFMもしくはAMを選ぶ

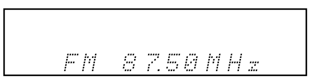




押すたびにFM/AMが切り換わります。

2 TUNING（チューニング）▼/▲ボタンを押して希望の放送局を受信する





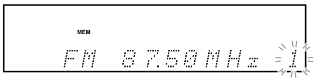
ボタンを押し続けると、連続して周波数が変わり、ボタンを離すと放送局を受信し止まります。

▷次ページに続く

3



MEMORY(メモリー)ボタンを押して希望の放送局を登録する

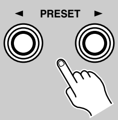


MEMORYボタンを押すと「MEM(メモリー)」インジケーターが点灯します。8秒間何も操作しないでいると、元の周波数表示に戻ります。

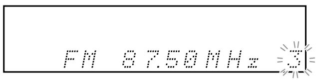
ご注意

MEMORYボタンを長く押し過ぎないようにご注意ください。MEMORYボタンを押し続けると「AUTO(オート) PRESET(プリセット)」表示の点滅が始まります。さらに押し続けると、オートプリセット動作に入ってこれまで登録していたプリセット局がすべて消去されてしまいます。

4



PRESET(プリセット)◀/▶ボタンを押して登録するプリセット番号を選ぶ



登録するプリセット番号が表示されます。

5



MEMORYボタンを押して決定する

MEMORYボタンを押すと「MEM」インジケーターが消えます。
これで放送局が登録されました。
次の放送局を登録するには、手順***2*** ～***5***をくり返します。

ご注意

同じプリセット番号に新たに放送局を登録すると元の放送局が消去されます。

！ヒント

本機はテレビの1～3chの音声を受信することができます。（ただし、ステレオ放送でもモノラルになります。）
TUNING▼/▲ボタンで選局してください。オートチューニングでは止まりません。

テレビの音声周波数

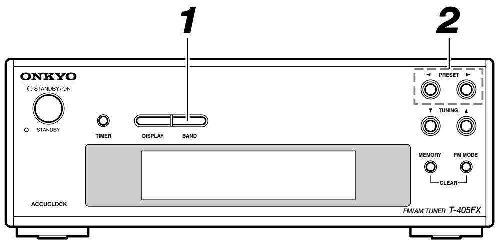
1ch： 95.75MHz
2ch：101.75MHz
3ch：107.75MHz

プリセットしたあとにこんなこともできます

- 登録したプリセット局に放送局名など名前をつける。（☞21ページ）
- 登録したプリセット番号を選んで削除する。（☞19ページ）

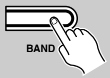
FM/AM放送を聞く

あらかじめ放送局を登録しておいてください。
（☞16〜18ページ）

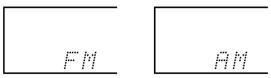


操作の前に
電源を入れてください。

1

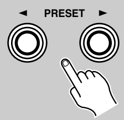


BANDボタンを押してFMもしくはAMを選ぶ



押すたびにFM/AMが切り換わります。

2

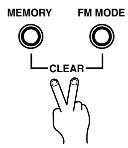


PRESET◀/▶ボタンを押して希望のプリセット番号を選ぶ

◀ボタンを押すと前の数字を、▶ボタンを押すと次の数字を選べます。

登録したプリセット局を削除するには

左項の手順で削除するプリセット番号を呼び出します。



MEMORYボタンを押しながらFM MODEボタンを押す

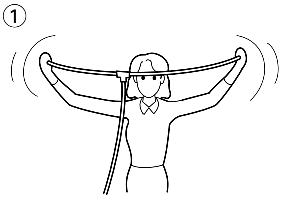
番号表示が消え、削除されます。

アンテナの調整をする

FM室内アンテナを調整して固定する

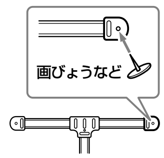
FM放送を聞きながらFMアンテナの調整をします。

①



アンテナの方向を変えて受信状態が良好になるように設置場所を見つけます。

②



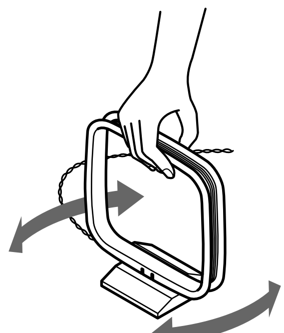
画びょうなどでアンテナの先を止めます。

ご注意

画びょうを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

AM室内アンテナを調整する

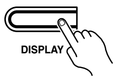
AM放送を聞きながら受信状態が良好になる位置に置きなおしたり、左右に回して調整します。



ラジオ放送を聞く

表示部の情報を切り換える

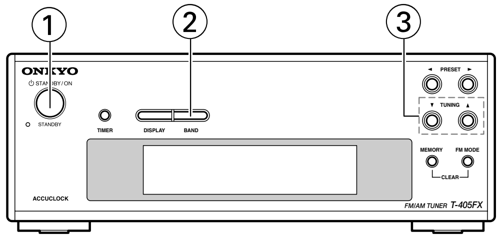
本体のDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。





プリセット番号に名前がついていないときは、名前表示はありません。
また、時刻設定をしていないときは、時計表示はありません。

手動で周波数を合わせるときは



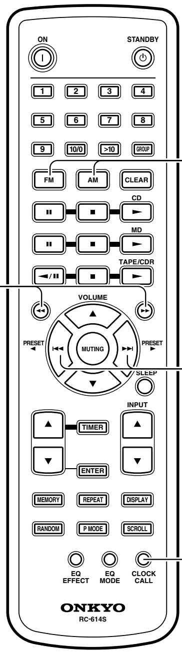
① 電源を入れる
② FMかAMを選ぶ
③ TUNING（チューニング）▼/▲ボタンを押して、表示部を見ながら周波数を合わせる
一回押すごとに周波数がFMでは0.05MHz、AMでは9kHzずつ変わります。0.5秒以上押すと周波数が連続して変化します。ボタンをしばらく押してから手を離すと自動的に周波数が上がり（下がり）、放送局があると自動的に停止します。

FMモードの切り換えについて



電波の弱いところや雑音の多いところでは本体のFM MODE（モード）ボタンを押し、AUTO（オート）の表示を消してモノラル受信にしてください。雑音や音切れを軽減できます。
AUTOに戻すときは、同じボタンを押します。

A-905FXに付属のリモコン（RC-614S）で操作する



FMかAMを選ぶ
アンプも本機もスタンバイ状態のときにこのボタンを押すと、アンプと本機だけ電源が入ります。

手動で周波数をあわせる
▶▶ボタンを押すと周波数が上がり、
◀◀ボタンを押すと周波数が下がります。

プリセット番号を選ぶ
PRESET（プリセット）▶ボタンを押すと次の数字を、
PRESET（プリセット）◀ボタンを押すと前の数字を選べます。

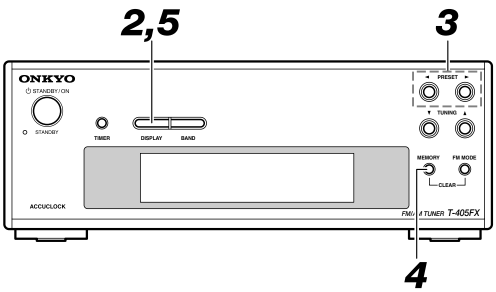
時計表示にする

- INTEC205シリーズの他のアンプ（AVセンター）に付属のリモコンで操作するときは、その製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

登録したプリセット局に名前をつける

FMやAMのプリセット局には、アルファベットや記号を使って8文字以内で名前をつけることができます。

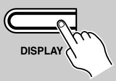
入力できる文字
␣ A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
" ' & ( ) [ ] ＊ ＋ , − . ／ ＝ ?
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9　␣はスペースを意味します。



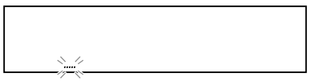
1 名前をつけたいプリセット番号を選ぶ

19ページの方法でプリセット局を受信してください。

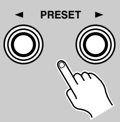
2 DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを3秒間押し続けて文字入力モードにする

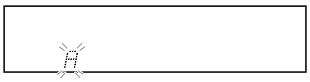


表示部にカーソルが点滅します。

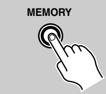


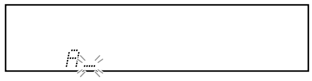
3 PRESET（プリセット）◀/▶ボタンを押して希望の文字を選ぶ





4 MEMORY（メモリー）ボタンを押して確定する

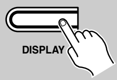




カーソルが右へ移動し、次の文字の入力待ちになります。
TUNING▼/▲ボタンを使用して、カーソルを移動させることもできます。
手順***3***、***4*** をくり返して最大8文字まで入力できます。

！ヒント
- 空白にしたいときは空白のままでMEMORYボタンを押してください。
- 8文字目を入力したあとにMEMORYボタンを押すと、先頭の文字に戻ります。

5 DISPLAYボタンを押して終了する



文字を訂正/消去する

文字入力モードになっていないときは、左項の手順***1***、***2*** を行ってください。

① TUNING▼/▲ボタンでカーソルを左右に移動する
② PRESET◀/▶ボタンで文字を選ぶ
③ DISPLAYボタンを押して確定し、終了する

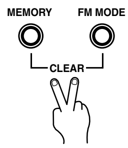
！ヒント

文字を追加して右へ移動したり、文字を削除して左へ詰めるなどはできません。

一度にすべての文字を消去する

文字入力モードになっていないときは、左項の手順***1***、***2*** を行ってください。

MEMORYボタンを押しながらFM MODE（モード）ボタンを押す

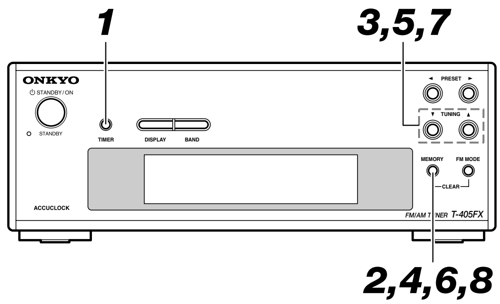


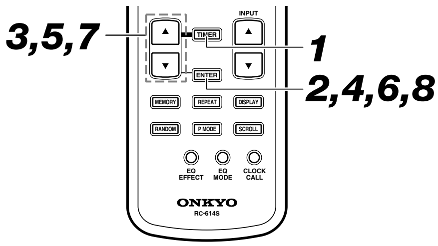
ご注意

文字入力モードでないときにこの操作をすると、プリセット局が削除されてしまいますのでご注意ください。

手動で現在時刻と曜日を合わせる

本機には標準電波受信ユニットが付属しています。標準電波がうまく受信できないときや、手動で時刻設定をしたいときは下記の方法で時刻合わせをしてください。
A-905FXをご使用の場合は、A-905FXに付属のリモコン（RC-614S）を使用して時刻設定をすることもできます。





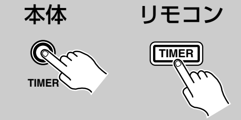
A-905FXに付属の
リモコン（RC-614S）

お好みにより、12時間(am/pm)表示と24時間表示が選べます。
本書では24時間表示の設定方法で説明しています。
また、説明文章中の（　）内の名称はリモコンのボタンです。

操作の前に

電源を入れてください。

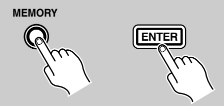
1





TIMER（TIMER）ボタンを（くり返し）押して、「CLOCK」を表示させる

2

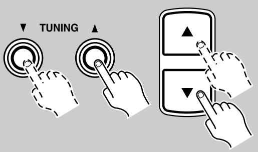




MEMORY（ENTER）ボタンを押す

AUTO表示になります。

3

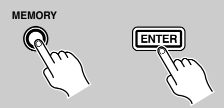




TUNING▼/▲（▲/▼）ボタンでMANUAL表示にする

押すたびに「AUTO」と「MANUAL」が切り換わります。

4

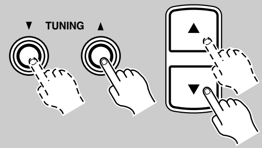




MEMORY（ENTER）ボタンを押す

手動で入力するモードになり、曜日入力に入ります。

5

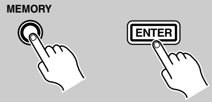


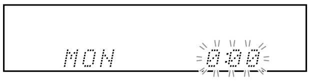


TUNING▼/▲(▲/▼)ボタンで今日の曜日を選ぶ

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
日	月	火	水	木	金	土

6

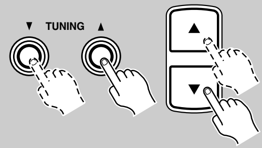


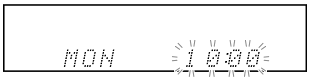


MEMORY(ENTER)ボタンを押して曜日を確定する

時間入力に入ります。

7

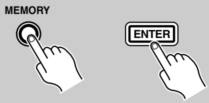


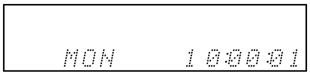


TUNING▼/▲(▲/▼)ボタンで時刻を合わせる

ボタンを押し続けると、数字を早く進めることができます。

8





MEMORY(ENTER)ボタンを押す

時報などに合わせてボタンを押してください。
秒が表示され、時計が始動します。

時計合わせを中断するときは

TIMERボタンを押します。

!ヒント

- 標準電波を受信して時計を自動的に合わせるには、手順***3***で「AUTO」にし、MEMORY(ENTER)ボタンを押してください。
- TUNING▼/▲ボタンの代わりに、PRESET◀/▶ボタンを使用することもできます。

12時間表示/24時間表示を切り換える

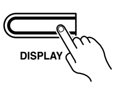
電源がオンのときに操作します。

① TIMERボタンをくり返し押して「24H/12H」表示にする
② MEMORYボタンを押す
③ PRESET◀/▶ボタンで「24H」もしくは「12H」を選ぶ
④ MEMORYボタンを押す

お買い上げ時の設定は「24時間表示」です。

スタンバイ時の時刻表示あり/なしを切り換える

本体のDISPLAYボタンを押します。



時計、曜日を表示させる(リモコンのみ)

リモコンのCLOCK CALLボタンを押します。



再度CLOCK CALLボタンを押すと時計表示は消えます。表示を消しておくと、待機電力を低く押さえることができます。

タイマー機能を使う

SLEEPタイマー、ONCEタイマー、EVERYタイマーがあります。

INTEC205シリーズのアンプ（AVセンター）にRI端子付きのオンキヨー製機器をシステム接続している場合にご使用いただくことができます。

- SA-907FXと本機を接続している場合は、本機のボタンでタイマー設定をしてください。

タイマー予約について

タイマー番号の選択

タイマーは4つまで設定することができます。

タイマーの種類

- タイマーPLAY(再生)は、設定した時間になるとA-905FXに接続したRI端子付きのオンキヨー製機器が再生を始めます。再生機器を正しく選択してください。
- タイマーREC(録音)は、A-905FXに接続したRI端子付きのオンキヨー製MDレコーダーやカセットテープデッキに録音します。入力表示を正しく設定してください。

再生機器の設定

本機のFM、AMやA-905FXに接続しているRI端子付きオンキヨー製機器（CDプレーヤーやMDレコーダー、カセットテープデッキなど）、A-905FXに接続しているタイマー機能のある外部機器が選択できます。

タイマーRECは、FM、AM、A-905FXに接続したタイマー機能のある機器から選択して録音することができます。

曜日の設定

タイマーは1回だけ働く「ONCEタイマー」と毎週設定した曜日、時間に働く「EVERYタイマー」があります。

また、EVERYタイマーには「EVERYDAY(毎日)」、「毎週月曜から金曜」や「毎週の土曜と日曜」など、連続した曜日を自由に設定することができます。

例）

TIMER 1　毎朝の目覚ましがわりに
タイマーPLAY(再生)―EVERY―EVERYDAY(毎日)―7:00～7:30

TIMER 2　毎週のラジオ放送を録音
タイマーREC(録音)―EVERY―MON(月曜日)～SAT(土曜日)―15:10～15:30

TIMER 3　今週の日曜だけラジオ放送を録音
タイマーREC(録音)―ONCE―SUN(日曜日)―10:00～12:00

ご注意

- タイマー再生中または録音中は、現在時刻や終了時刻などの設定を変更することはできません。
- 現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。必ず時刻を合わせてください。
- 本機に接続した機器のタイマーを予約するときは接続を確実に行ってください。接続が不完全ですとタイマー再生やタイマー録音はできません。
- タイマーREC(録音)中は、MUTING機能が働いて音声がごく小さくなります。タイマーREC中に音声を聞くには、リモコンのMUTINGボタンを押してください。
- タイマー再生中または録音中にTIMERボタンを押すと、動作中のタイマーは「オフ」になります。
- 本機の時計設定が正確な場合でも、録音機器側の動作、MDやCDなどの情報（TOC）読み込み状況により、設定した時刻ちょうどに録音が始まらない場合があります。録音開始時刻に1分程度の余裕を持って時間設定することをお勧めします。

タイマー表示について



タイマーが1つでも設定されていると、TIMER表示が点灯します。数字が点灯していたら、設定されている状態です。□が点灯している数字はタイマーRECが設定されています。

同じ曜日にタイマー予約の時間が重なった場合

- 開始時刻が早いタイマーが優先されます。
- 開始時刻が同じ場合はタイマー番号が小さい方が優先されます。

TIMER 1　9：00 － 10：00

TIMER 2　<u>8：00</u> － 10：00

↰ 優先(タイマー開始時刻が早い方)

TIMER <u>3</u>　12：00 － 13：00

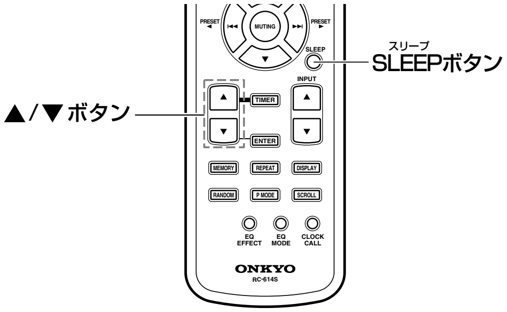
↰ 優先（タイマー番号が早い方）

TIMER 4　12：00 － 12：30

スリープタイマーについて

設定した時間がくると、システム接続しているすべての機器の電源が自動的にスタンバイ状態になります。

SLEEPタイマーを使う（リモコン）



A-905FXに付属の
リモコン（RC-614S）



SLEEPボタンを押す

「SLEEP 90」が表示され、90分後に電源が切れる設定になります。
ボタンを押すごとに10分単位で時間が短くなります。



1分単位で時間を設定したいときは

▲/▼ボタンを押します。
▲ボタンを押すと1分ずつ増え、99分まで設定できます。▼ボタンを押すと1分ずつ減り、1分まで設定できます。

残り時間を確認するには

SLEEPボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。ただし、残り時間が10分以下の表示のときに再びSLEEPボタンを押すとSLEEPタイマーは解除されます。

SLEEPタイマーを解除するには

「SLEEP －－」の表示が出るまでSLEEPボタンを（くり返し）押します。

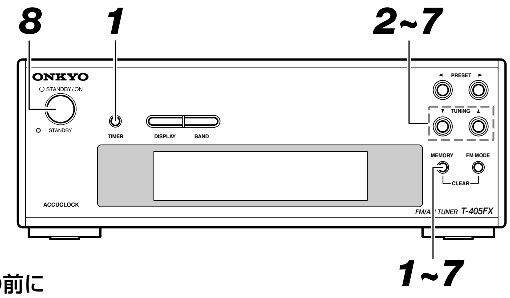
タイマー機能を使う

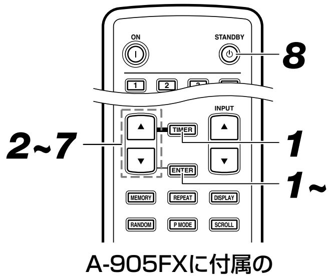
タイマーを予約する

FM、AMのタイマーを予約するには、あらかじめ放送局を登録しておいてください。（☞16〜18ページ）

ご注意

現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。
設定中60秒間何も操作しないと通常の表示に戻ります。

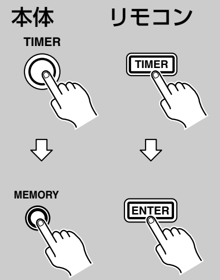




A-905FXに付属の
リモコン（RC-614S）

操作の前に
電源を入れてください。

1



＜タイマー番号の選択＞

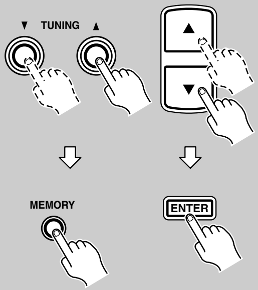


TIMER（TIMER）ボタンを（くり返し）押して、設定するタイマーの番号を選ぶ

TIMER1〜TIMER4のいずれかを選び、MEMORY（ENTER）ボタンを押します。

TIMER1〜4が表示されない場合は、曜日と時刻が設定されていませんので、曜日と時刻を設定してください。（☞14、22ページ）

2



＜タイマー種類の選択＞



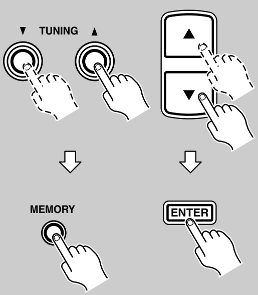
または



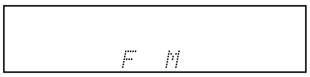
TUNING▼/▲（▲/▼）ボタンで、タイマーPLAY（再生）またはタイマーREC（録音）を選ぶ

タイマーの種類が表示されたらMEMORY（ENTER）ボタンを押します。
タイマーREC（録音）のときはアンプ（AVセンター）に接続されているテープデッキやMDレコーダーに録音されます。録音中は、MUTING機能が働きます。

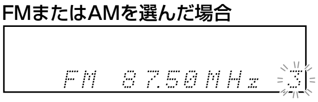
3



＜再生機器の選択＞



FMまたはAMを選んだ場合

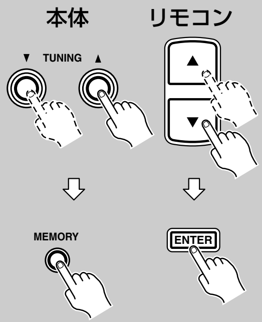


TUNING▼/▲（▲/▼）ボタンで再生する機器を選ぶ

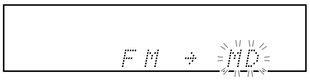
再生する機器が表示されたらMEMORY（ENTER）ボタンを押します。
タイマーREC（録音）のときは、FM、AM、LINEの中から選べます。
FMもしくはAMを選んだときは、プリセット番号を選びます。

4

本体　リモコン



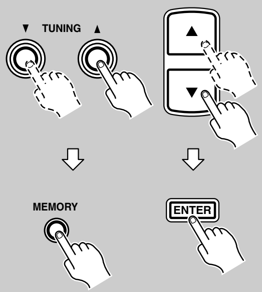
＜録音機器の選択＞



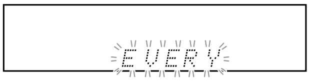
(タイマーREC設定時のみ)
TUNING▼/▲(▲/▼)ボタンで、録音する機器を選ぶ

録音する機器が表示されたらMEMORY(ENTER)ボタンを押します。

5



＜曜日の設定＞



TUNING▼/▲(▲/▼)ボタンで、ONCEまたはEVERYを選ぶ

“ONCE”を選ぶと一度だけ、“EVERY”を選ぶと毎週タイマーが働きます。選んだらMEMORY(ENTER)ボタンを押します。

“ONCE”の場合：設定した曜日に一度だけ働きます。



TUNING▼/▲(▲/▼)ボタンを押して、曜日を選ぶ

曜日を表示させたらMEMORY(ENTER)ボタンを押します。
曜日の表示は下記の通りです。

MON	(月曜日)	FRI	(金曜日)
TUE	(火曜日)	SAT	(土曜日)
WED	(水曜日)	SUN	(日曜日)
THU	(木曜日)		

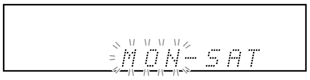
“EVERY”の場合：設定した曜日に毎週働きます。

TUNING▼/▲(▲/▼)ボタンを押して、曜日を選ぶ

曜日を表示させたらMEMORY(ENTER)ボタンを押します。

MON ⇔ TUE ⇔ WED ⇔ THU ⇔ FRI
(月)　(火)　(水)　(木)　(金)
⇕　⇕
SUN ⇔ DAYS SET⇔EVERYDAY⇔ SAT
(日)　[曜日の範囲をお好みで設定します。]　(土)

“DAYS SET”の場合：連続した曜日の範囲をお好みで設定します。



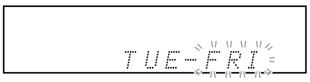
① TUNING▼/▲(▲/▼)ボタンを押して、最初の曜日を選ぶ

曜日を表示させたらMEMORY(ENTER)ボタンを押します。



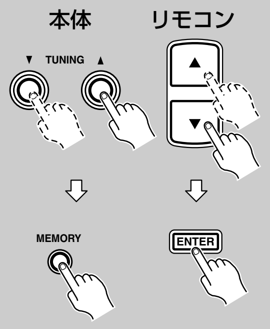
② TUNING▼/▲(▲/▼)ボタンを押して、最後の曜日を選ぶ

曜日を表示させたらMEMORY(ENTER)ボタンを押します。



この場合、毎週火曜から金曜の設定した時間にタイマーが働きます。
設定できるのは連続した曜日です。月曜日と水曜日など、連続していない曜日を設定することはできません。

6



＜開始時刻の設定＞



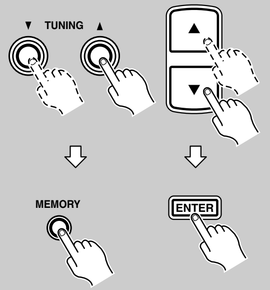
TUNING▼/▲(▲/▼)ボタンで、タイマー開始時刻を設定する

時刻を表示させたらMEMORY(ENTER)ボタンを押します。

！ヒント

- 開始時刻(ON)を設定すると終了時刻(OFF)は自動的に1時間後の表示になります。
- アンプ（AVセンター）に接続したRI付きオンキヨー製MDレコーダーに録音するとき、開始後数秒間は録音されない場合がありますので録音開始時刻を１分ほど早めに設定してください。

7



＜終了時刻の設定＞

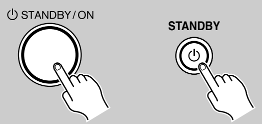




TUNING▼/▲(▲/▼)ボタンで、タイマー終了時刻を設定する

時刻を表示させたらMEMORY(ENTER)ボタンを押します。

8



＜スタンバイにする＞

アンプ（AVセンター）の電源をスタンバイ状態にする

STANDBY/ON(STANDBY)ボタンを押して電源をスタンバイ状態にします。

ご注意

- MDのタイマー再生で、MEMORY、RANDOM、1GRモードなどを設定していても、タイマーオン時には通常再生になります。
- 電源がスタンバイ状態以外の時には、タイマーの予約時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させるときには、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。
- タイマー動作中にスリープタイマーの設定をしたり、TIMERボタンを押すと動作中のタイマーは解除されます。

タイマー予約をやり直したいときは

TIMERボタンを押して最初から設定してください。

！ヒント

TUNING▼/▲ボタンの代わりに、PRESET◀/▶ボタンを使用することもできます。

タイマーのON(実行)/OFF(取消)を切り換える

- 予約したタイマーの実行を取り消したいとき、タイマーを再び実行させたいときに使います。
- 現在時刻が設定されていないとタイマー予約はできません。

1

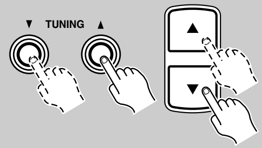




TIMERボタンを(くり返し)押して、設定するタイマー番号を表示させる

タイマー番号が点灯していたら、オン(実行)で設定されている状態です。

2





または



TUNING▼/▲(▲/▼)ボタンで、ON(実行)/OFF(取消)を切り換える

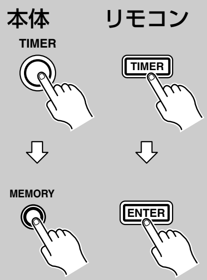
切り換えると約2秒後にもとの表示に戻ります。

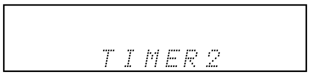
！ヒント

タイマー再生中やタイマー録音中にTIMERボタンを押した場合も、「タイマーオフ」になります。

タイマー設定の内容を確認するには

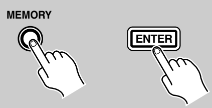
1

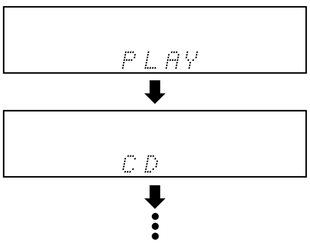




TIMERボタンを（くり返し）押して、確認したいタイマーの番号を表示させ、MEMORY(ENTER)ボタンを押す

2





MEMORY(ENTER)ボタンをくり返し押して、次の内容を確認する

押すたびに次の設定内容が確認できます。

！ヒント

確認中にTUNING▼/▲ボタンで設定内容を変更することもできます。
タイマー設定がOFFになっている場合、設定内容を変更すると自動的にタイマー設定がONになります。
すべての項目を確認し、設定に変更がないと元の表示に戻ります。通常の表示にするにはTIMERボタンを押します。

困ったときは

まず下記の内容を確認してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

電　源

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。〔12ページ〕

FM/AM放送に関して

放送に雑音が入る/FMステレオ放送の時、サーというノイズが多い
オートプリセットで放送局が呼び出せない/FM放送で“FM ST”表示が完全に点灯しない

- アンテナの接続をもう一度確認してください。〔13ページ〕
- アンテナの位置を変えてみてください。〔19ページ〕
- アンテナをスピーカーコードや電源コードから離してください。
- テレビやコンピューターから離してください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
- FMモードをモノラルに変更してみてください。〔20ページ〕
- AM受信時リモコンを操作すると雑音が入る場合があります。
- それでも受信状態が悪い時は市販の屋外アンテナをお薦めします。

停電になったり、電源プラグを抜いたときは

- メモリーは通常2週間は保持されます。万一、登録したラジオの放送局が消えてしまった場合は、再度登録を行ってください。
- 現在時刻は解除されるので、現在時刻、タイマーを設定してください。

電波時計に関して

受信に失敗するようになった

- 本機に受信ユニットがきちんと接続ケーブルで接続されているか確認してください。
- 受信ユニットの位置や向きが変わっていませんか？
- 受信ユニットのまわりに受信を妨害する電気製品を置いていませんか？

タイマー再生・録音に関して

タイマー再生･録音しない

- 現在時刻/日付は正しく設定されていますか？
  時刻が設定されていないと、タイマー再生、録音はできません。曜日と現在時刻を設定してください。〔15、22ページ〕
- 開始時刻に電源が入っているとタイマーが開始しません。タイマー開始時はスタンバイ状態にしてください。〔28ページ〕
- タイマー予約の時間が重なっているとはたらかないタイマーがあります。時間をずらして設定してください。〔24ページ〕
- INTEC205シリーズのアンプ（AVセンター）にオンキヨー製機器が正しく接続されていますか？RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。また、表示名称が正しく設定されているか確認してください。〔12ページ〕
- タイマー録音するには録音可能なMDやカセットテープをセットしておく必要があります。
- MDでタイマー録音するときは、必ずアナログ入力にしてください。

スタンバイ状態で時計表示が出ない

- 本体のDISPLAYボタンを押してください。〔23ページ〕

音　声

ラジオ放送の音声が出てこない

- 接続コードがしっかり差し込まれているか確認してください。〔12ページ〕
- 接続した機器の入力端子や入力設定を間違えていないか確認してください。
- アンプのボリュームが最小になっていないか確認してください。

リ　モ　コ　ン

本体のボタンは働くが、リモコンのボタンが働かない

- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。
- リモコンとアンプ（AVセンター）の間が離れすぎていませんか？リモコンとアンプ（AVセンター）の間に障害物がありませんか？〔10ページ〕
- アンプ（AVセンター）のリモコン受光部に強い光（インバーター蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？〔10ページ〕
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていたり、装飾フィルムを貼っていると、正常に機能しないことがあります。
- アンプ（AVセンター）に付属のリモコンを使用する場合、RIケーブル、オーディオ用ピンコードを正しく接続してください。〔12ページ〕

A-905FX（アンプと組合わせる場合）

音が出ない/システム機能が働かない/リモコンが働かない

- A-905FXのMAIN IN機能が働いていないか確認してください。詳しくはA-905FXの取扱説明書をご覧ください。

主な仕様

■FM/AMチューナー部

●FM

受信範囲：76.0MHz～108.0MHz
受信感度：ステレオ 17.2dBf 2.0μV（75Ω IHF）
モノラル 11.2dBf 1.0μV（75Ω IHF）
SN比：ステレオ 70dB（IHF-A）
モノラル 76dB（IHF-A）
歪率：ステレオ 0.3%（1kHz）
モノラル 0.2%（1kHz）
周波数特性：20Hz～15kHz/＋1.5dB、－1.5dB
ステレオセパレーション：45dB（1kHz）

●AM

受信範囲：522kHz～1,629kHz
受信感度：30μV
SN比：50dB
歪率：0.7%

■総合

電源・電圧：AC100V、50/60Hz
消費電力：8W
待機時電力：0.7W（時計表示を消したとき）
最大外形寸法：205（幅）×76（高さ）×279（奥行）mm
質量：1.7kg
クロック精度：月差±15秒
（25℃、標準電波受信による時刻修正を行わない場合）
月差±1秒
（25℃、標準電波受信による時刻修正を行った場合）

仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約10秒以上放置してから電源プラグを接続してください。

リセットするには
電源を入れた状態で、MEMORYボタンを押しながらSTANDBY/ONボタンを押してください。「CLEAR」と表示された後、スタンバイ状態になります。

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名　T-405FX
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： 年 月 日
ご購入店名：
Tel. ( )
メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社 大阪府寝屋川市日新町2-1 〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：カスタマーセンター
ナビダイヤル ☎ 0570(01)8111（全国どこからでも市内通話料金で通話いただけます）
または ☎ 072(831)8111（携帯電話、PHSから）

Printed in Japan
G0502-2

SN 29343991A

* 2 9 3 4 3 9 9 1 A *